



# 霧が丘

令和6年11月22日  
横浜市立義務教育学校  
霧が丘学園  
校長 根岸 淳

## 人のかかわりから学ぶ

副校長 吉田 岳雄

朝晩は大分冷え込むようになり、秋の深まりを感じる頃となりました。

今年度も中学部では10月24日(木)・25日(金)に「あすなろ(学習発表会)」を開催しました。子どもたちの活躍がいっぱいの本校ならではの行事となりました。また、10月31日(木)には、きりたまタイムで小中の交流があり、15周年記念として「謎解きゲーム」を行いました。

今年の「あすなろ」のスローガンは「海輝～闇を照らす一人ひとりの仲間たちと～」でした。一人ひとりが輝いて暗い深海を照らし、明るく輝く海にしようという意味がこめられています。音響、照明、大道具、小道具、そして役者などそれぞれの役割をクラスで分担し、1つの劇を創り上げていきます。活動を通してスケジュールの管理や人との関わり方、過程の大切さなども学び、霧が丘学園で学んだ「コミュニケーション・表現力」の集大成となる行事です。完成に至るまでにはそれぞれにたくさんのドラマがあったことと思います。それぞれに最善を尽くしたいという思いがありながらも、思いがぶつかり合ったり、うまく届かないことがあったり…。それを乗り越えながら皆でよりよいものを創ることができ、クラスとしての団結力もより高まる素晴らしい取組となりました。「仲間の支えがあってこそ乗り越えられた。これからも仲間の大切さや感謝の気持ちを忘れないように生きていきたい。」という劇中の言葉の通り、人のかかわりを通して多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。



また、第3回のきりたまタイムでは、1年生から9年生までの全員で謎解きゲーム「校舎に散らばる宝物」という企画での縦割り活動を行いました。15周年特別企画ということで、2・3・4校時を使って大イベントとなりました。小学部、中学部の校舎を周り、12の謎を解いて宝物を探すというゲームです。ヒントをもらう場面では1・2年生がじゃんけんマンとの勝負に挑み、グループで協力して謎を解いていきました。7・8・9年生が小学部の子の様子を気にかけてながらリードし、一緒に謎を解く活動をしながらか交流を楽しみました。見つけた宝物は「思い出」で、届いたメッセージは「未来へつなげ、霧が丘」でした。開会式や閉会式の生徒会が中心となり行ったパフォーマンスにも工夫があり、大変盛り上がりしました。



この後、12月には15周年記念学活を予定しています。「これまでの霧が丘 これからの霧が丘」というテーマで児童・生徒全員で霧が丘のまちや学校を改めて見つめ直し、地域の一員としてこれまでをふりかえり、これからどんなまちや学校にしていきたいか、ということを考えていきます。また、その取組の内容をもとに、12月21日(土)には児童・生徒と地域や保護者の代表の方と一緒に話し合いをする「地区懇談会」も予定しています。

人のかかわりから学んでいることを価値付け、大切にしながら、義務教育学校として1年生から9年生の子どもたちがそのよさを実感し、「すすんで挑み 自分をみがく」ための意欲が高まっていけるよう努めてまいります。保護者や地域の皆様のお力添えのほど、引き続きよろしくお願いたします。

<霧が丘学園ホームページ>

※各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード